



報道発表資料

2005年6月1日  
XML 技術者育成推進委員会

## XML マスター V2 試験、本日よりスタート

～さらに価値の高い認定制度を目指し、より実践に即した技術力を問う内容に～

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学環境情報学部教授 兼 W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、XML 技術者認定制度『XML マスター』の新試験、「XML マスター：ベーシック V2」試験および「XML マスター：プロフェッショナル V2」試験を、本日より開始しました。

新試験は、XML の急速な普及により必要とされる技術知識が変化してきたことを受け、机上で得られる知識を問うだけでなく、実務レベルでの知識・技術力を試す問題を増やすことで、時代が必要とする真の実力を持った技術者を認定する試験へと強化されています。

具体的には、「XML マスター：ベーシック V2」試験では、実際のシステムを想定した XML Schema、XSLT 等の問題の出題比率が上がっています。また「XML マスター：プロフェッショナル V2」試験では、応用的かつ実践的なアプリケーション開発スキルを判定するため、問題の大半が Java によるアプリケーション、XSLT スタイルシート、XML Schema 等のサンプルを提示した問題となりました。よって、合格するためには単なる技術知識だけではなく、プログラムコードやアルゴリズムを理解するスキルが不可欠となっています。

本日の新試験スタートに先駆け、委員会では既に XML マスターを取得している方を対象にモニター受験を実施しました。その結果、評価は総じて好評で、モニター試験実施後のアンケートやインタビューでは「良質で実践的な試験である」とのコメントを数多くいただいています。

委員会の会長である斎藤信男 慶應義塾大学環境情報学部教授 兼 W3C Associate Chairperson は、「XML の普及に伴い、XML を習得した技術者の必要性は高まっています。より実践に即した XML マスター V2 試験の開始により、XML マスターの市場価値がさらに高まると確信しています。」と述べています。

なお、新試験の開始を記念して、委員会ではXMLマスター：プロフェッショナル V2 試験の最初の合格者 3 名に、記念盾の贈呈を予定しています。

XML 技術者育成推進委員会では、『XML マスター』新試験の開始により、知識と実践力を兼ね備えた価値の高い技術者の育成を推進してまいります。

#### ●XML マスターについて

「XML マスター」は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度で、既に 1 万名を超える認定技術者を輩出しています。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。「XML マスター」の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。

詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

#### ●XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されています。

- ・ XML コンソーシアム
- ・ 外資系情報産業研究会（略称：FIIF）
- ・ インフォテリア株式会社
- ・ NEC ソフト株式会社
- ・ 株式会社大塚商会
- ・ グローバルナレッジネットワーク株式会社
- ・ ソニーグローバルソリューションズ株式会社
- ・ 日本アイ・ピー・エム株式会社
- ・ 株式会社日立システムアンドサービス
- ・ 株式会社 日立製作所
- ・ 株式会社 PFU
- ・ 日本電気株式会社
- ・ 富士通株式会社

#### <お問合せ先>

[office@xmlmaster.org](mailto:office@xmlmaster.org)

（電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/>

（ウェブサイト）

小川 優美

（広報担当）

以上